

令和5年度 大阪府立高槻支援学校 第1回 学校運営協議会記録

令和5年(2023)年5月15日(月)10:00~12:00

於:本校図書室

出席

<委員>閑喜美史(会長)、鳥山茂(副会長)、窪田三穂、山田義昭、福井勇、重永晃太郎

<学校>彌永校長

<事務局>吉田事務長、田路教頭、加藤教頭、掛田首席、岡田浩首席、東郷首席、丸尾首席

傍聴者 なし

- 1 校長あいさつ
- 2 運営協議会委員及び事務局の紹介
- 3 授業見学
- 4 事務局からの報告事項
 - ① 学校運営協議会実施要項について
 - ② 今年度の学校運営協議会の予定について
 - ③ 保護者からの意見書について
 - ④ 令和5年度学校経営計画について
 - ⑤ 令和5年度の首席等のおもな役割について
- 5 質疑、協議
- 6 校長あいさつ

*上記のとおり、報告等を行い、各委員から次のような意見等をいただいた。

- ・保護者からの意見書について
(提出なし)
- ・経営計画において、「働き方改革」の一層の推進が取りあげられている。これにより教職員に余裕が生まれることを期待する。
- ・府教育庁の方針とのことで、教職員の勤務時間外の電話対応を行わないことについては、当初、保護者にもとまどいもあったが、教員に余裕が生まれることにつながると思うので、受け入れてもらえると思う。
- ・教員に余裕があることが児童生徒への教育活動の改善充実につながると思えるので、そのような好循環がつくられるよう、「働き方改革」のめざすところを保護者等へ丁寧に説明し、取組を進めていただきたい。
- ・これからは学校がすべてを担うのではなく、社会全体で「子育て」に取り組んでいくことが求められている。本校においてもさまざまな取組を進め、保護者や地域とともに、いわゆる「最適解」を探していただきたい。
- ・首席の役割について、4名の首席が多岐にわたる校務の推進や調整に取り組んでおられることがわかった。それにより、本校の教育活動が効率的に推進されていると感じた。ただし、首席の時間外勤務の時間数が増えることが懸念されるので、首席にこれ以上業務が集中しないよう、配慮いただきたい。
- ・「働き方改革」の推進とともに、教職員の時間外勤務の実態も把握していただき、産業医と連携して、教職員

の健康管理につとめていただきたい。

- ・学校なので教育分野が主になるが「障害者総合支援法」の改正、高槻市の障がい福祉に係る対応など、障がい福祉に係る制度等の動きについても留意していただきたい。

今後の予定

第2回 令和5年(2022)10月16日(月)10:00～ 本校図書室にて

第3回 令和6年(2023)1月24日(水)10:00～ 同上